デスク

865SGL/SGH

組立・取扱説明書

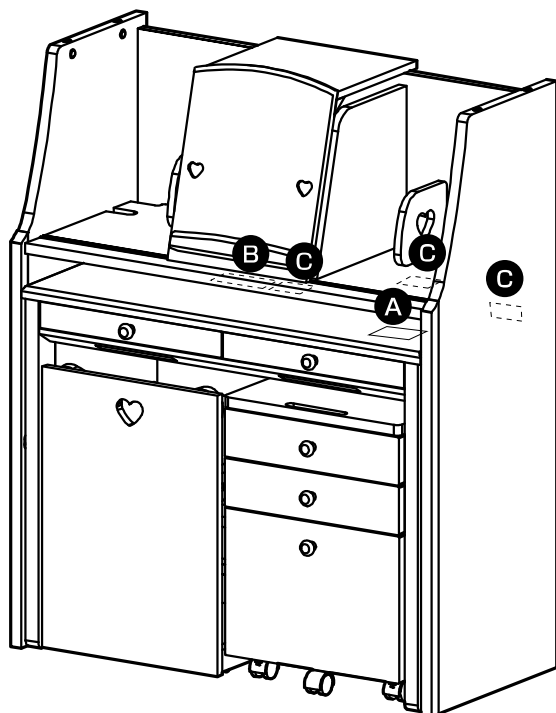
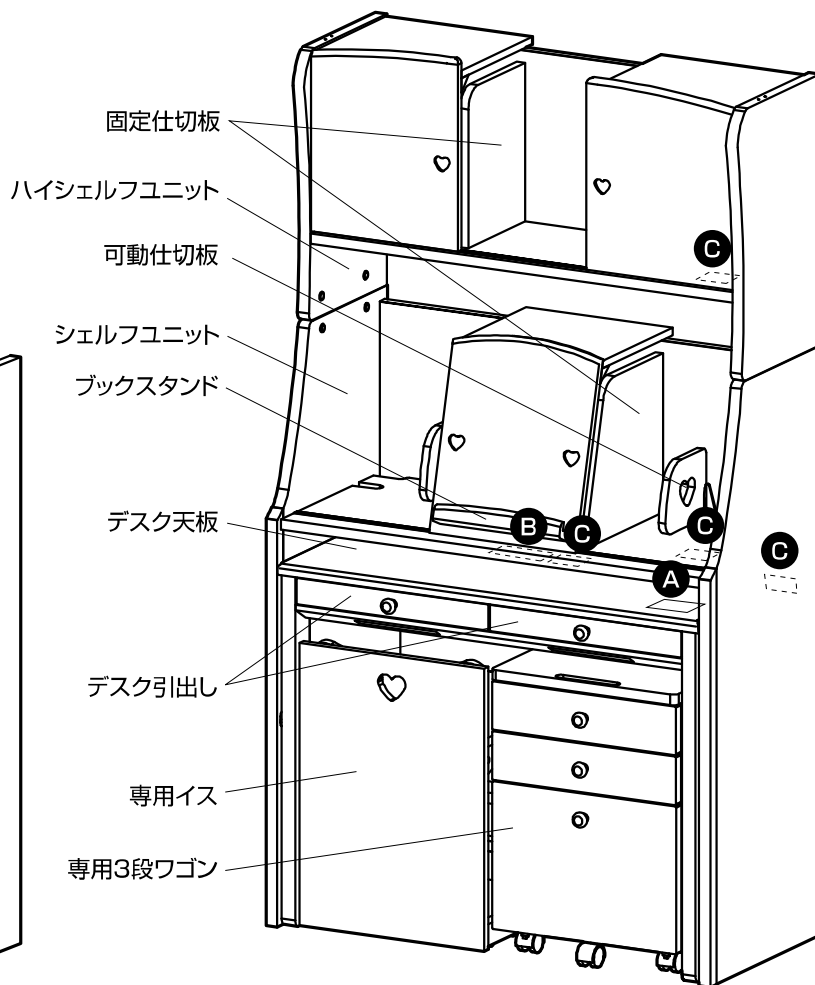
保存版 保証書付

Study DESK
スタディデスク

組立には⊕のドライバーが必要です。
ご用意してから組立ててください。
＊電動ドライバーは、製品を破損する恐れがあるので、使わないでください。

このたびはオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この組立て・取扱説明書をよくお読みになり、十分にご理解された上、正しく組立てご使用いただくようお願いいたします。

■組立完成図（各部の名称）

固定仕切板
ハイシェルフユニット
可動仕切板
シェルフユニット
ブックスタンド
デスク天板
デスク引出し
専用イス
専用3段ワゴン

■ロータイプ（865SGL）

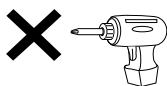
■ハイタイプ（865SGH）

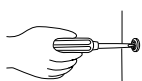
安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

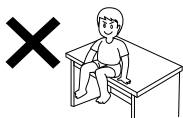
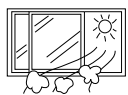
⚠注 意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表します。

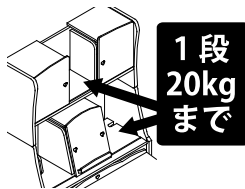
⚠注 意

⚠組立て上のご注意

組立て前に説明書をよくお読みの上、ボルト類はドライバーで確実にしめ、組立て部品は省かずに使用して正しく組立ててください。

組立ての際は、電動ドライバーを使用しないでください。必要以上の力がかかると商品が破損したり、ボルトが外せなくなる恐れがあります。

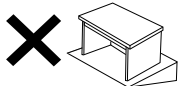
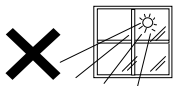
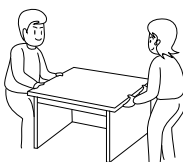
組立てパターンにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。部品紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

組立て後は平らな場所で製品の本締めを行い、各部がしっかり取付けられているか確認してください。

⚠取扱い上のご注意

製品を乱暴に取扱うことや、用途以外での使用はしないでください。製品に体重をかけたり、のることは絶対にしないでください。転倒および破損の原因となり危険です。

購入当初の製品は接着剤や塗装物質の臭いがすることがあります。しばらくの間は、換気や通気を十分に行い定期的な換気を行ってください。

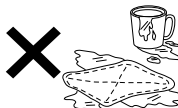
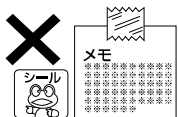
製品に載せるものは必ず最大積載質量以内にしてください。最大積載質量より重いものを載せると、転倒や破損の原因となり危険です。
天板最大積載質量=40kg（等分布静荷重）

シェルフ、ハイシェルフの棚への最大積載質量は1段**につき**20kgまでにしてください。

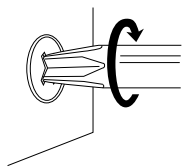
机を出し入れする時は、できるだけ丁寧にゆっくりと出し入れを行ってください。乱暴に出し入れすると、ストッパー部分が破損する恐れがあります。

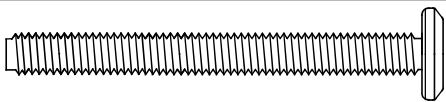
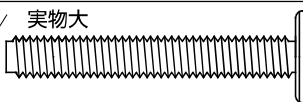
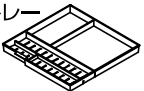
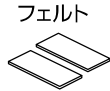
フローリング床では、机を強く押して出し入れさせないでください。（床をキズつけたりすることがあります）

⚠据付け時のご注意

水平で安定した場所を選び設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。

直射日光のあたる場所、温度や湿度の高い場所での使用は、変質・変形・変色のもとになりますので避けてください。

製品の据付け及び移動の時は、必ず二人以上で持ち上げてください。
製品を引きずると、床を傷つける場合があります。

⚠末永くお使いいただくために

高熱になっているものを直接製品の上に載せないでください。
変質・変形・変色の原因となります。

製品の上をぬらしたままにしたり、ぬれた布などを放置しないでください。表面材の変形やシミ・腐食の原因となります。ぬれた場合は、水分が残らないようにすぐにふき取ってください。

製品にはシールやセロテープ等を貼付けないでください。
表面材がはがれる原因となります。

硬いもので製品をこすったり、下敷き等を使用せずに先の硬いボールペンなどの筆記具で書きものをしないでください。
変形やキズの原因となります。

ボルト類のゆるみと部材の接続部は定期的に点検し、ゆるみなどがあった場合はしっかり締め直してください。
ゆるんだまま使用した場合、変形・破損及び転倒の危険があります。

⚠お手入れについて

硬くしぼった布でふいてください。汚れがひどい時は中性洗剤をうすめてふき取り、あとで洗剤が残らないように硬くしぼった布できれいにふき取ってください。多量に水分が残ると変形・変色の原因となります。

アルコールやシンナー系の溶剤は表面を傷めますので絶対に使用しないでください。

デスク

部品明細（組立て前に必ずご確認ください。）

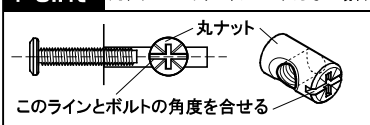
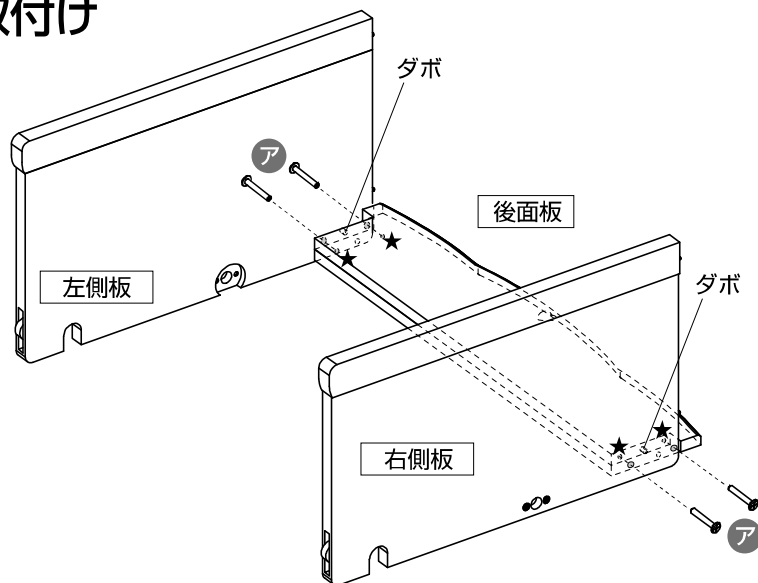
シェルフユニット

ハイシェルフユニット 865SGHのみ

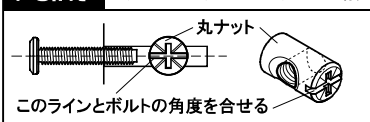
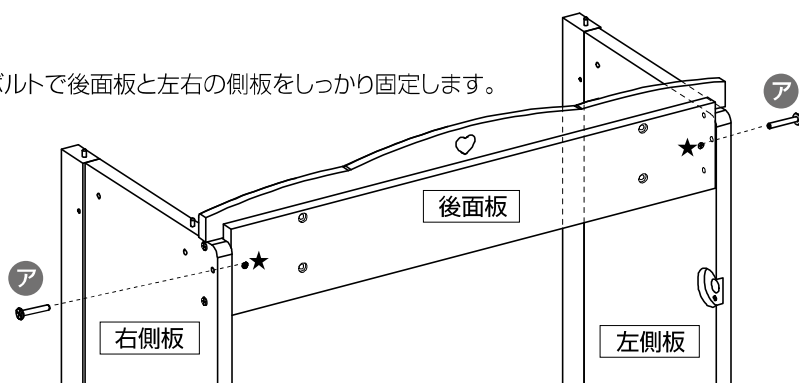
デスクの組立て方

1 後面板と側板の取付け

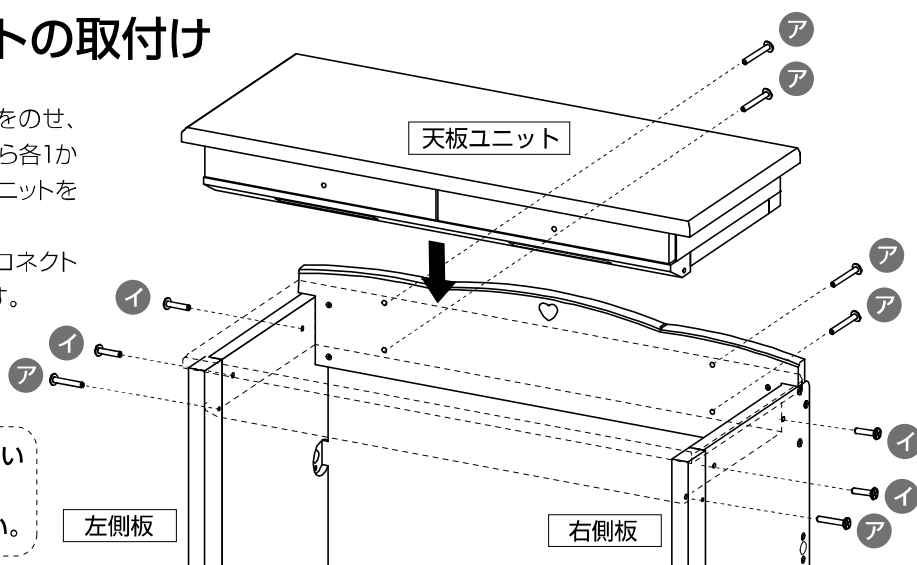
後面板と左右の側板を ア のコネクトボルトで各2か所づつ取付けます。

※コネクトボルトが入りづらい場合は
下図のように調整してください。

★印部には丸ナットが使用されています。

2 後面板の固定

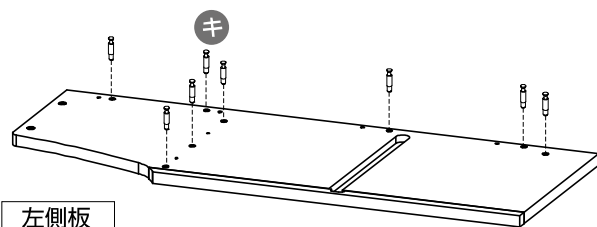
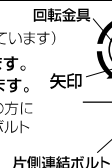
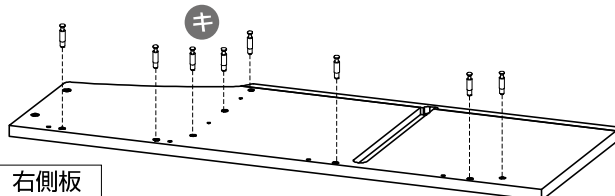
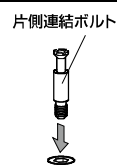
1 で組んだ部材を起こし ア のコネクトボルトで後面板と左右の側板をしっかり固定します。

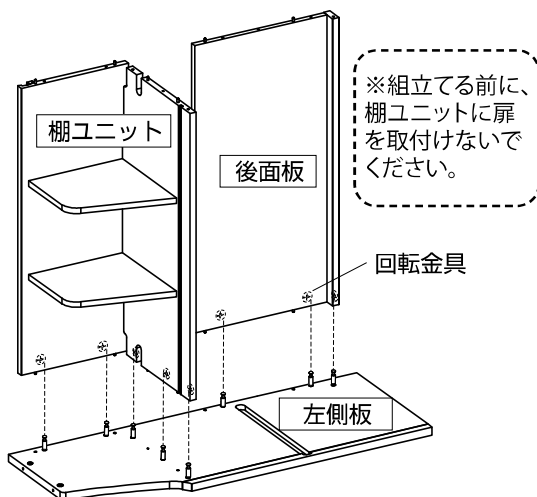
※コネクトボルトが入りづらい場合は
下図のように調整してください。

★印部には丸ナットが使用されています。

3 天板ユニットの取付け

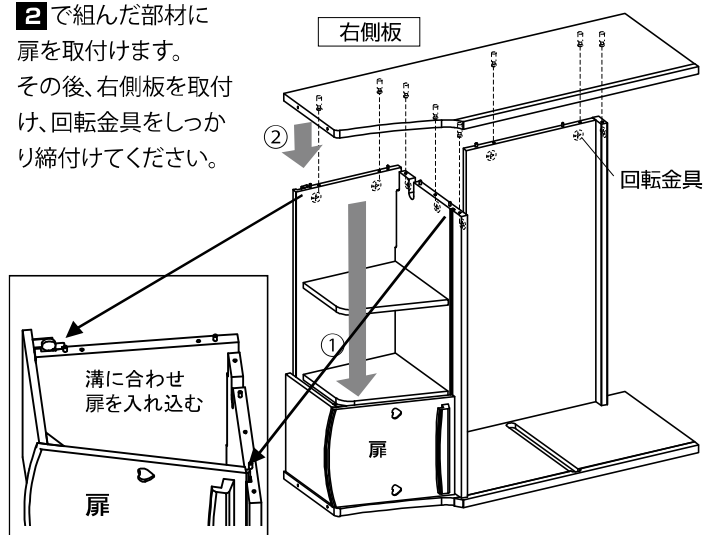
2 で組んだ部材に天板ユニットをのせ、後面板から4か所と左右の側板から各1か所 ア のコネクトボルトで天板ユニットを取付けます。
左右の側板から各2か所 イ のコネクトボルトで天板ユニットを固定します。

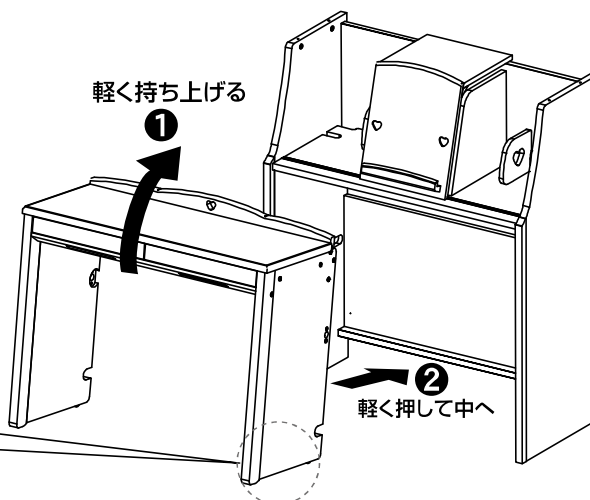
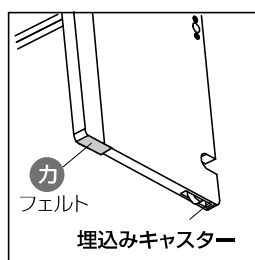
※コネクトボルトは長い ア と短い イ のボルトがあります。
間違えないようご注意ください。

シェルフユニットの組立て方

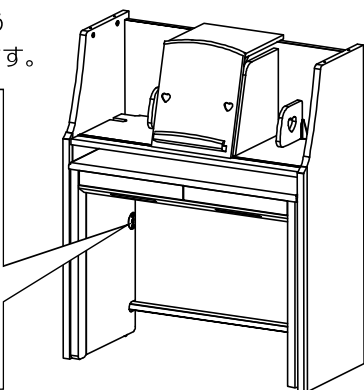
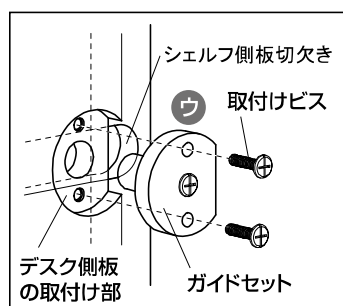
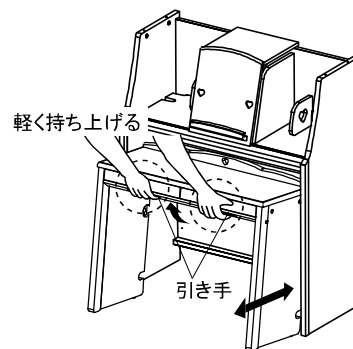
1 連結ボルトの取付け

左右の側板に各8本ずつ キ の片側連結ボルトを取付けます。

2 左側板の取付け

左側板に棚ユニットと後面板を取付け、回転金具をしっかり締付けます。

3 扉、右側板の取付け

2 で組んだ部材に扉を取付けます。その後、右側板を取付け、回転金具をしっかり締付けてください。

4 デスクの 収納

デスクの側板の底面、図の位置にフェルトを貼付けてください。
デスクの前側を軽く持上げて、底面後部に取付けられた埋め込みキャスターを転がすようにして、デスクをシェルフユニットへ収納してください。

5 ガイドセットの取付け

デスクが必要以上に前に出ないよう ウ のガイドセットを左右に取付けます。

デスクの出し入れの仕方

デスクの引き手を持って、前面を軽く持上げ、ゆっくりと出し入れを行ってください。

仕切板・扉の使い方

可動仕切板の取外し・取付けは、棚板の左右切欠き部から行うことができます。また、固定仕切板も取付けコネクトボルトを外すことで左右どちらか1枚のみ取外すことができます。

ロータイプ（865SGL）でお使いになる場合は、左右の側面脚上部の連結穴に ク の穴埋め用キャップと、左右の側板各2か所に ケ の回転金具用キャップを取付けます。

ケ
ク
ケ

可動仕切板の取付け

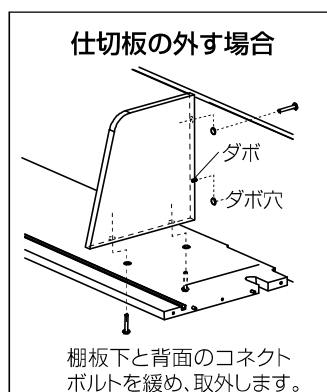
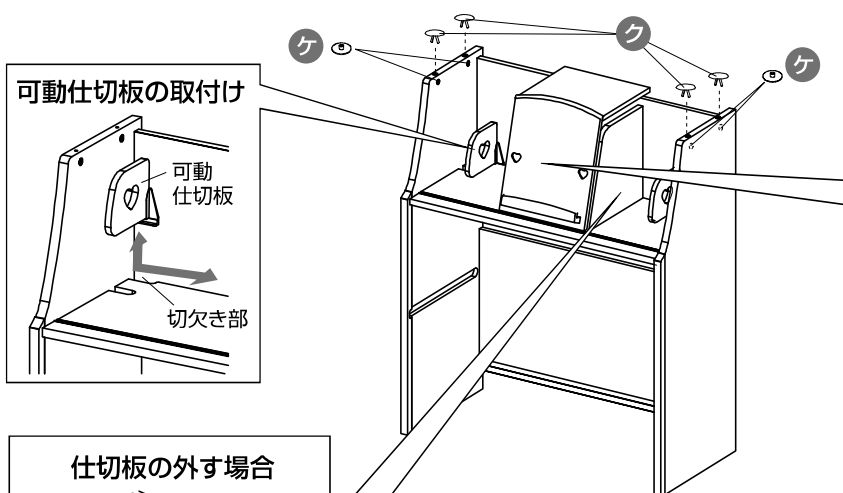
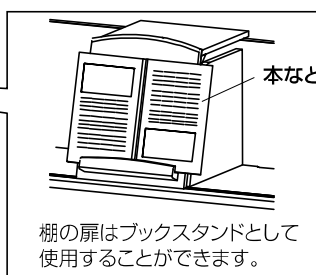
可動
仕切板
切欠き部

本など

棚の扉はブックスタンドとして使用することができます。

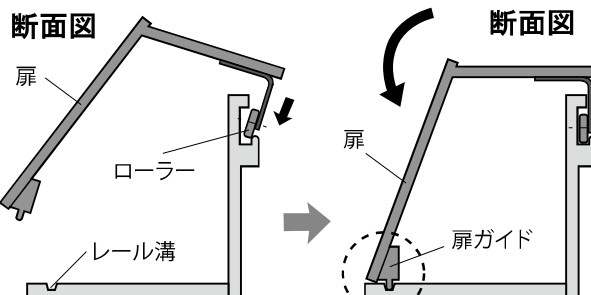
仕切板の外す場合

ダボ
ダボ穴

棚板下と背面のコネクトボルトを緩め、取外します。

※仕切板を取外す場合、左右どちらか1枚のみとしてください。2枚外すと棚の強度が不足する場合があります。取外した場合は、ボルト穴とダボ穴に ク の穴埋め用キャップを取付けます。

扉が外れてしまった時は

下記のようにして扉を取付けてください。

断面図

扉
ローラー
レール溝

扉のローラーを棚ユニットの後レール溝へ、上斜めからあてがいます。

断面図

扉
扉ガイド

そのまま扉を手前へ倒し、棚ユニットのレール溝へ扉ガイドを差込みます。

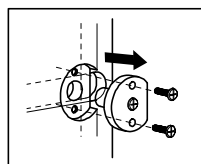
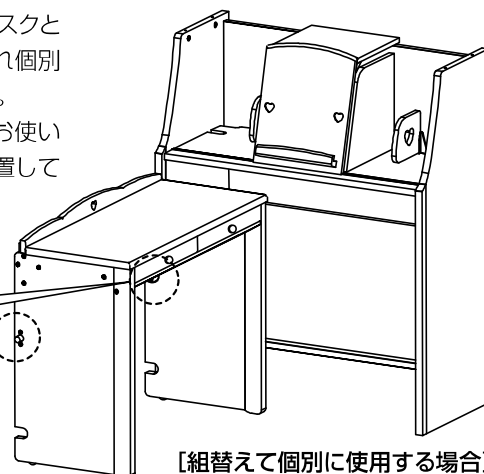
6 把手の取付け

把手が取付いていない時は、
引出しの底面を軽く持ち上げて手前に引き、引出し内側からコネクトボルトで把手を取付けます。

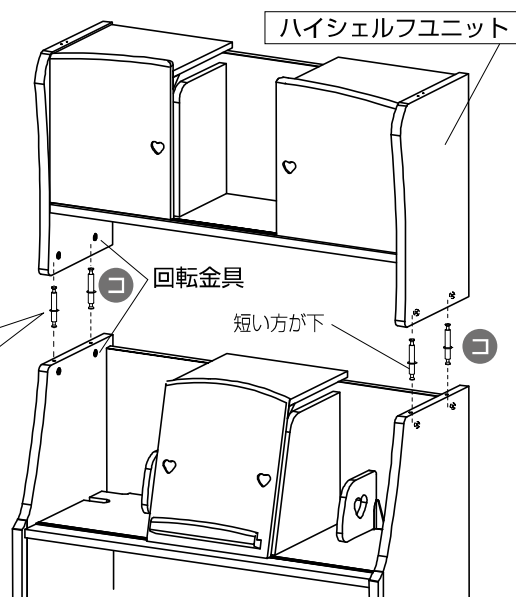
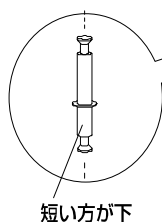
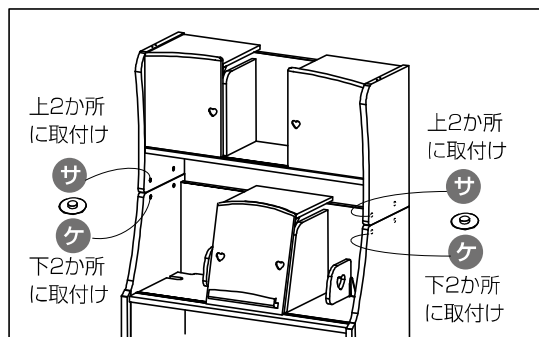
エ
把手

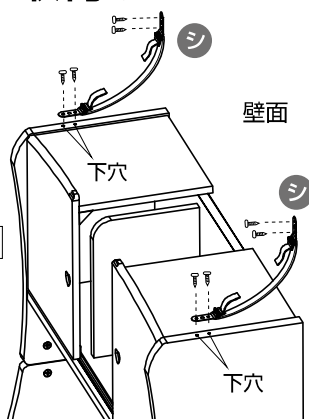
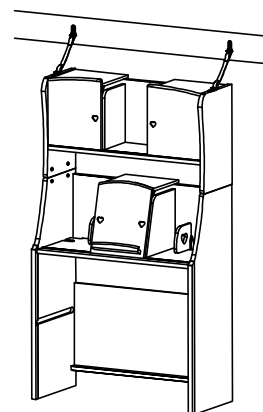
把手は緩む可能性がありますので、定期的に締め込んでください。

デスクとシェルフユニットのレイアウト例

ガイドセットを取外して、デスクとシェルフユニットをそぜぞれ個別に使用することができます。
並列、左右へのL字型などお使いになるお部屋に合わせ設置してください。

ハイシェルフユニットの取付け（865SGHをご購入の方のみ）

7 ハイシェルフユニットの取付け

シェルフユニットの上部にある連結ボルト穴に コ の両側連結ボルトを差し込み、ハイシェルフユニットをのせて回転金具をしっかり締付けます。取付け後は ケ と サ の回転金具用キャップを取付けます。

8 転倒防止ベルトの取付け

ハイシェルフユニットの上部に シ の転倒防止ベルトを取付け、片方を室内の壁に取付けます。

転倒防止ベルトは内部構造のある（ハリのある）室内の壁などに取付けてください。

■おかしいかな？ と思ったら

Ⓠ 組立てがうまくいかない。
部品が取付かない。

Ⓐ 説明書の手順で組立てていますか？
取付け部品の種類や向きが間違っていませんか？

Ⓠ 木目や色が想像と違う。
展示品や写真と違う。

Ⓐ 木目や色がカタログ及び見本製品と違いが出る場合があります。

Ⓠ 部品が余ってしまった。

Ⓐ 組立パターンにより、使用しない部品や部材が生じる場合があります。組替え時には必要になりますので大切に保管してください。

■製品廃棄について

不要になった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。
廃棄の際は法令に従った適切な廃棄処理をお願いいたします。ご不明な点はご相談ください。

修理と製品保証について

この度はオカムラ スタディデスクをお買い上げいただき、誠にありがうございます。
この製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしております。
万一保証期間内（一般社団法人 日本オフィス家具協会のガイドラインに基づく）に故障した場合は無料にて修理をさせていただきます。
（お客様購入日よりの指定期間、不具合箇所・現象の例による。）

修理は、お買い上げの販売店に、必ず本保証書を添えて、ご依頼ください。

所定記入の無い場合は、保証書と一緒に、ご購入先の領収書を保存しておいてください。

保証書

	不具合箇所・現象の例		期　間
保証期間	外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色、クロスの磨耗	1年
	機構部・可動部	引出し、スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構の故障	2年
	構造体	強度、構造体にかかわる破損	3年

品　名	デスク	品　番	865SGL/SGH	お買上日	年　月　日
おところ		販売店名			
お 名 前					㊞

1. 保証期間内でも次の場合は有償修理になります。
   イ）組立て･取扱説明書の注意事項をお守りいただけなかったことが原因での故障。
   ロ）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障。
   ハ）お買い求めの販売店、もしくは当社以外での修理･改造などによる故障。
   ニ）本書にお買い上げ年月日、販売店等、本保証書所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ホ）保証書の提示がない場合。
   ヘ）消耗部品の交換。
   ト）火災、塩害、異常電圧、地震、雷、風水害、その他天災地変などによる故障。
2. 運賃等の諸経費はお客様にご負担いただく場合があります。
3. 本書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
4. 修理用部品の最低保有期間は、製品の製造中止後5年間とさせていただきます。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

尚、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等について、ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店にお問い合せください。

株式会社 岡村製作所　〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸1-4-1 天理ビル19階

よい品は結局おトクです

株式会社 岡村製作所　インテリア営業部　製品開発室

ホームページアドレス　http://www.okamura.co.jp/

お問い合わせ・ご相談は
お客様サービスセンターへ　フリーダイヤル 0120-81-9060
受付時間 9:00～17:20（土･日･祝日を除く）

R1406-03